

# ワコン ドライアイス使用量半減 折りたたみコンテナ

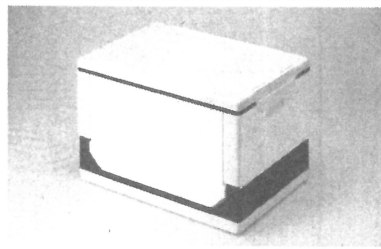
【和歌山】ワコン（和歌山県紀の川市、西田耕平社長、0736・77・2203）は、ドライアイスの使用量を従来の半分以下に削減できる保冷折りたたみコンテナ「Coolone（クールワン）」を開発した。主に食品市場向けに8月から販売を始めるほか、サンプルの無料貸し出しや有料の運用テストにも対応する。消費税抜きの価格は1個1万2000円。初年度1万個の販売を目指す。

コンテナはプラスチック製で中にウレタンを注入し、保冷性能を高めた。気密性を保つ構造上の工夫も併せて行い、折りたたみ可

材。重さ約4キログラムで37リットルを収納できる。外気温35度Cの環境下、ドライアイス700グラムでコンテナ内を10時間以上約10度Cに保てることを実験で確か

めた。従来の方法では約10度Cを10時間以上維持するのに、ドライアイス2キログラムを必要とした。

ドライアイスは供給不足の傾向が続いている。代わりに保冷剤を使う場合、保冷剤の凍結に手間がかかる課題もあり、折りたたみ保冷性能も高いコンテナが求められていた。



▲ 水洗いできる保冷折りたたみコンテナ「Coolone」

コスト削減  
肖々ボーレ  
安全生貨証

込むと、表面の導火線ごとく着火して火災が波